

新入荷商品のご紹介



秦荘紬 八寸帯
浴衣にも夏着物にも使え、さわやかな水色が見るものを涼やかな気持ちにさせてくれます。

132000円



印伝『そよか』
七宝の柄がモチーフの『そよか』。こころの和を表現している七宝の白と黒のコントラストが印象的で、使ったたびにさわやかな気持ちにさせてくれます。

10780円



鎌倉彫 下駄
民芸調の鎌倉彫の台に紅型風の鼻緒で夏の浴衣姿を華やかに演出します。ジーンズなど洋装にも粋に履きこなせます。

16000円



家田紙工 水うちわ
夏の風物詩金魚をモチーフにして暑い夏にひと時の涼をよんでくれます。自宅のインテリアに、大切な方へのプレゼントに。

9900円

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2024年8月号

ごあいさつ

30台後半の気温が当たり前になってしまっている昨今。私たちの子供のころは夏休みといえば学校のプールに行くのが楽しみでしたが、最近はあまり夏休みのプールがないそうですね。夏の風物詩がどんどん変化していっています。皆さんの夏の風物詩といえはなんですか？私の夏の風物詩はスイカの種飛ばしです。



9月の連休

毎週火曜日・水曜日定休

※まだまだ水曜日休みが定着しておらず、ご迷惑をおかけしております。

特集 藍染の魅力



日本古来の染でジャパンプルーといわれる藍染は、蓼藍（たदैい）の葉を乾燥、発酵させ一年がかりで作ったすくもを藍瓶の中で灰汁などと発酵させ、その上澄み液で染める技法です。藍染はその昔は日本人の仕事着、野良着、日常着として虫よけや蛇よけなどとして実用的に使われてきました。また、火にも強いといわれ、江戸時代の火消しの装束などにも使われてきました。また、薬効効果もあり、冷え性にも効くといわれています。現代では、そのような効果を見込んで使われるということはほとんどありませんが、藍染の持つ自然の色彩はどこか落ち着く化学染料とは違った魅力を持っています。藍の色は、どんな帯とのコーディネートもしやすく、なじむので帯を主役にして着回しを楽しむことができます。9月の大創業祭では3年前に新型コロナの感染拡大のためにできなかった展示をリベンジしますので一度是非ともご覧下さい。

9月の大創業祭では藍染め商品を集めます。

SNSで情報発信中！

かわちやの新作商品や産地のものづくりの話、竹次郎カフェの開催日などSNSでも発信しています。

フェイスブック



kawachiya888

インスタグラム



kachuan888



呉服の河内屋

〒444-0521

愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62

https://www.gofuku-kawachiya.co.jp

メール info@gofuku-kawachiya.co.jp

tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539